

学校での活動を地域の人たちへ紹介

11月11日、汐見小学校では地域の人たちに学校生活の活動紹介をするとともに、生まれ育った汐見の良さを紹介する「汐見っ子フェスティバル」を開催しました。

3・4年生の発表「長島の赤土バレイショのひみつ」では、長島赤土バレイショ誕生の歴史や知識について発表し、ジャガイモを作っている地域の人たちも知らないクイズを出すなど来場者をうならせていました。5・6年生は、同校135年の歴史を昔の写真を交えて紹介し、昔の母校を懐かしむ声に会場は包まれていました。

来年の3月で閉校することが決まっている同校。最後の発表会を見ようと、PTA会員のみなならず多くの地域の人たちが来場し、児童らが発表を終えるたびに、惜しめない拍手が送られていました。



↑全校児童10人で元気に発表

児童らが一同に集い交流を深める

鷹巣小学校と伊唐小学校、獅子島小中学校の3校の児童が一同に集い、一緒に学習したり遊んだりすることで、お互いの交流を深める交流学習が11月21日、鷹巣小学校で行われました。

同学年の友達と一緒に授業を受けたり、給食を食べたりして交流を深めた児童たち。高橋賢樹さん(獅子島小6年)は「今まで、こんなに多くの友達と一緒に授業を受けた事がなかったけど、新鮮でとても良い体験ができた」と、交流を楽しんでいました。



↑一緒に理科の実験を試みる児童たち

実業団トップクラスの技を学ぶ

11月12日、B&G海洋センター体育館のリニューアルを記念して、鹿児島相互信用金庫卓球部による卓球教室が開催されました。

同部は、全国実業団卓球選手権で上位に入るなどの実績を持ち、鹿児島国体での活躍が期待される全国屈指の名門チームです。

この日は、全国クラスの技を学ぼうと、町内の卓球愛好者ら約50人が参加。模範試合や個別指導を受けていました。

練習に参加した谷村恵美さん(長島中2年)は「実業団トップのプレーは迫力があり、教えかたも上手で分かりやすく、とても勉強になった」と満足げに話していました。



↑模範試合に見入る参加者ら